

「小野茶」を活用した「緑茶葉石けん」、「小野茶入緑茶菓子」等の開発及び販路拡大による事業化



株式会社山口茶業がある山口県宇部市の小野地区には、西日本随一の茶畑が広がっている。小野茶は、濃い味の煎茶として好まれているが、生産量の80パーセントは静岡へ出荷され、ブレンドされた後は静岡茶として流通しているのが現状なのだという。

「小野茶のブランド力をアップし、知名度を上げたい、というのが当事

略歴／昭和22年生まれ。同47年山口大学卒業。同50年株式会社山口茶業設立、平成元年代表取締役社長就任。



代表取締役社長 堀野民生

新商品の開発を消費拡大の切り札に

全国を巡りお茶そのものを売っても、小野茶の消費拡大には限度がある。消費拡大の切り札は、素材としてどう活かすかという方向性だった。

「『従来、お菓子では抹茶を使っていたが煎茶ではどうだろう?』『お茶を石けんに入れたら?』『麺類に煎茶を使ってみたら?』など、イメージを広げて実験していくうちに、新

しい商品を開発できる可能性が見えてきました。そこで認定をもらい、積極的に開発と商品化を進めようと思ったのです。10年ほど商品開発を行い、昨年認定を受けることができました。小野茶の特質を活かした、既存の商品とは異なる商品ができたという自負がありますよ」

茶葉の効果に期待が高まる

商品としての良さはもちろんですが、茶葉への注目も集まっている。

たとえば、昨今、よく目にする食品の賞味期限の問題。研究を重ねる中で、「小野茶を入れると、賞味期限が3倍から5倍に延びる」ことが分かってきたそう。今は自社の商品に限り使用しているが、研究が進めば、いずれは他の企業とコラボ

レートし、小野茶を賞味期限の問題を解決する素材として役立てられるのではないかと夢も広がっている。また、煎茶の収斂作用に注目した事業開発も始まっているそう。平成19年より、山口県の地域資源開発の事業として山口県の菊川にある「菊川の糸」というそうめんにお茶を入れる共同開発事業にも着手。煎茶の収斂効果で、非常に腰が強い麺ができるという。

さらに、注目されているのが、お茶に含まれるカテキンの殺菌、抗菌作用。ガンの抑制作用もあると考えられている。「緑茶葉石けん」は、抗菌作用に優れた小野茶、竹炭、オリブ葉をパウダー状にして練りこんだオリジナル商品。肌に潤いを与え、シミ取り、美白への効果が高いとされ、人気商品だ。また、山口大学や山口県立大学と共同で、生活習

慣病や糖尿病対策に効果を発揮する健康茶の開発も進めている。

産学官の共同で、事業を展開中

商品開発を進めるうえで、のいちばんの苦勞が協力会社だという。お茶作りのプロではあるが、自社工場を建てて全事業を賄うのは難しい。必要な設備を持った、信頼性の高い製造委託先を探すのにはかなりの時間をかけたとか。また、お茶の劣化が少ない状態で使用できるようにする研究にも苦勞したそう。

「新しいことを始めるには苦勞はつきもの。その過程で、いろいろな人との出会いがあり、協力会社が見つかり、産学連携が始まり、だんだんと将来性も見えてきました。商品づくりは人づくりなのだ」と、改めて実感しています。今後は、開発した商品を流通にのせるのが目標ですね。そして、小野茶の知名度を高め、歴史ある小野地区のお茶作りを絶やさぬよう、後継者の育成にも力を注ぎたいと考えています」

事業概要

宇部市小野地区には、小野湖を中心に約100haの規模を有する西日本随一の茶畑が開けている。当地区で生産される「小野茶」は、濃い味の煎茶として特色を有しているが、生産量の80%は静岡に出荷され、ブレンドされた後、静岡茶として販売されている。

本事業では、「小野茶」の特性を活かした商品開発を行い、域外への販路拡大により事業化を進め、「小野茶」としてのブランド力を高めるとともに、産地の活性化を図る。

売れる商品づくり

競争力 「小野茶入緑茶菓子」は、「小野茶」特有のカテキンを多く含む特性を活かし、差別化を図っている。また、「緑茶葉石けん」は、小野茶、竹炭、オリブ葉をパウダー状にして練りこんだ、これまでにない商品である。



市場性 お茶に含まれるカテキンの殺菌・抗菌作用やガンの抑制作用などが、広くメディアなどで紹介されており、健康志向の高まりの中、市場ニーズは確実に拡大してきている。

販路 小野茶の特性を最大限に活かし、女性・子供や健康志向の消費者をターゲットに、全国の消費者向けに通信販売、インターネット、委託販売等で販路を確立する。

地域資源における関係事業者との連携

小野茶PRのため、宇部市の支援のもと毎年「小野茶まつり」を開催している。また、茶葉の安定供給のため、小野地区の茶生産農家と連携を図っている。

Information



株式会社 山口茶業

所在地 ● 山口県宇部市小野楽原 152-13
TEL ● 0836-64-2116
URL ● <http://www.onocha.com>
設 立 ● 昭和50年11月12日
資本金 ● 500万円
従業員数 ● 20人

● 会社事業内容
山口県特産小野茶の生産・販売。荒茶を小野茶のブランド名で開発し、県の内外を問わず広く宣伝販売に努めた。その小野茶の特性を活かした商品開発を行い、健康茶・菓子・石けんなどの生産・販売も展開。

【活用する資源】

小野のお茶

【地域】 山口県宇部市
【認定日】 平成19年10月12日

【認定行政庁】 経済産業省、農林水産省



山口県